

静浦バイパス事業説明会 質疑応答書

本質疑応答書は、平成 25 年 3 月 12 日(火)及び 3 月 19 日(火)に行われた下香貫地区の静浦バイパス事業説明会における質疑応答について取りまとめたものです。

議 事	1 事業全体計画について
質 問	静浦バイパスの開通時期は、いつごろになるのか？
回 答	現在、暫定計画として沼津市大平地区までを、平成 30 年代の前半の開通を目標として工事を進めています。 それが完成した後に、伊豆の国市長岡北インターまでの区間の事業着手を目指しますが、現状ではそれがいつになるか明確ではありません。
質 問	事業用地の買収状況はどうなっているのか？
回 答	現在すすめている沼津市下香貫地区から大平地区までの第 1 期工区においては、用地取得率 97.7%(面積比)となっています。
質 問	この財政が厳しい中で、バイパスを本当に造らなければいけないのか。
回 答	本バイパスは、現道の慢性的な渋滞の解消、大型車両のすれ違い困難解消や、歩行者、自転車の安全を確保すること、さらには災害時の緊急輸送路の確保など、整備の必要性が高い道路だと考えております。 現国道 414 号は、津波浸水区域を通っており、災害時に通行止めとなる可能性が高いため、早急なバイパスの整備が必要だと考えています。
質 問	将来的に中央分離帯はどうなるのか？
回 答	現在すすめている 2 車線の暫定供用では中央分離帯は設けない予定ですが、将来 4 車線化時には中央分離帯の設置を基本としています。
質 問	液状化現象 ^(※1) の可能性はあるのか？
回 答	事前の調査では、市道 4352 号線より西側地域はしまりの緩い砂質土層及び高い位置での地下水位が確認されていて、「液状化の恐れがある」という結果がでています。
補 足	静岡県防災情報 GIS 情報閲覧ページによると、東海地震時の推定液状化危険度が掲載されていますが、この地域の多くは、「液状化の可能性がある」、「液状化の可能性が高い」に区分されています。 静岡県防災 GIS 情報閲覧ページのホームページアドレス (http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/shiraberu/map/maps.html) の中で「東海地震時推定液状化危険度」と検索してみてください。

質 問	下香貫地区の津波の高さはどれくらいを想定しているのか？
回 答	津波についてはいろいろな想定がありますが、その中でも沼津の香貫地区の最大は10mといわれています。また、トンネルの坑口の高さは約10mとなっています。
補 足	静岡県では地震被害の想定として、第4次地震被害想定等の中間報告をホームページ上に公表しています。 (https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/event/4higaisoutei/shizuokakendai4jijisinhigaisouteitounotyukanhoukoku.html) この中では、沼津市の島郷地区では、想定高さを5mから7m程度と想定しています。
質 問	トンネル坑口付近に広場を造り、地域住民が災害時に避難できるような土地を造ることは出来ないか？
回 答	災害時の利用については、沼津市とも相談を行いながら検討します。
補 足	基本的には、バイパスとしての道路用地ですので、いつ道路として利用しても良い様な土地利用に限ります。(建物等の構造物は、建築できません。)
質 問	トンネル坑口付近の盛土部にある現道が通学路になっているが、大きな壁で囲まれてしまうので、防犯灯を付けられないか？
回 答	トンネル坑口付近に限らず通学路などの安全対策については、自治会、沼津市役所や地域の小中学校を通して検討していきます。
議 事	2 工事計画について
質 問	トンネルを掘ったときに出る土砂はどこからどこへ運ぶのか？
回 答	トンネル内の排水の勾配、トンネル掘削土の搬出等工事の作業性を考えて下香貫側から掘り出し、下香貫地区内では工事用の道路を使用して、現国道414号を伊豆の国市の残土処分場へ運ぶ予定です。
質 問	土砂を運び出すとき、振動などの問題が出る恐れがあるが、その対応は？
回 答	市道を含めて、地盤が悪いところを地盤を固める工事を行います。地盤を固めた後に工事用車両を通しますが、万が一沿道の家屋に影響が出た場合は、工事終了後に再度調査を行い、基準に基づき補償を行います。
質 問	トンネル工事は深夜も発破を使って行うのか？

回答	トンネルの坑口 ^(※2) 近くでは、昼間施工を考えており、坑口から掘り進んだときに 24 時間行うことを考えています。
質問	トンネルの騒音対策は？
回答	工事中は仮設の防音壁を付けます。その後、永久的に防音壁を付けるかどうかは経過を見て決定していきたいと思います。
議事	3 道路利用計画について
質問	暫定道路供用時には、バイパスへ大型車を通さないのか？
回答	大平までの暫定道路供用時にも大型車は通しますが、大平側では大型車両の通行できる経路がわかりづらいことから、伊豆南方面へ向かう車両は現在の(国)414 号に誘導したいと考えています。そのための案内看板等の設置も検討していきます。
質問	ガソリンスタンド横の交差点は通行止めにしなければならないのか？
回答	現在、住民の方々からも安全上問題のある交差点だと伺っています。そのため、安全を優先して単純な三叉路の道路形態にするため、市道 0272 号線は通行止めとした方が安全だと考えています。
質問	(都)八重塚田線は通学路としても利用するため、歩道を広くして欲しい(片側を 4.50m、もう一方を 2.50m としてはどうか。)
回答	沼津市が主体となって整備している道路であるため、沼津市に意見を伝えます。
補足	(沼津市道路建設課から) 道路構造令等の基準により歩道幅員を決定し、上下線とも同じ歩道幅員で考えています。
議事	4 家屋事前調査について
質問	調査の対象が道路から 30m の範囲の家屋ということであるが、問題があるのならば、対象外の範囲の家屋も調査をやってもよいのではないかと？
回答	原則は約 30m という範囲に区切りましたが、それ以外の家屋でも問題が出るようであれば何らかの調査を検討します。

質 問	何点かで 24 時間の振動を取り、それでピンポイントのデータをとることができる方法もある。大型車が通ると振動伝搬が伝わるため、調査の対象を考えてほしい？
回 答	騒音、振動は、トンネル工事が始まる前に何測点かで測定を行い、工事が始まってから再測定することで、その比較ができるように調査を行います。
質 問	工事が始まり、家のがたつきが生じた場合、竣工まで不自由な状態で待つのはおかしいのではないですか。
回 答	基本は事前と事後を行い、比較することになります。 ただし、居住に支障が出る場合等については、補修を行う前に連絡をいただき、個別に相談させていただきます。
質 問	自分が住んでいる地盤はどのように知ることが出来ますか？
回 答	事業前に地域の何箇所かで調査を行っていますが、全部を調べているわけではありませんので、場所を教えていただければ個別で説明します。
補 足	静岡県の耐震設計上の地盤分類については、HP 上で公表されています。 その中の資料によると、下香貫地区の多くが「礫～砂礫質地盤」、「泥砂礫質地盤」に含まれています。 静岡県防災 GIS 情報閲覧ページ (http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/shiraberu/map/maps.html)

※ 1)液状化現象

一般に地盤は、土や砂、水、空気などで構成されています。

中でも、液状化現象が起こりやすい地盤と言われるのは、海岸や川のそばの比較的地盤がゆるく（しめかためられていない）、地下水位が高い砂地盤などです。

砂などの粒がお互いにくっついてその間に水がある状態のときに、地震で地盤が揺さぶられると、砂の粒同士が離れて水に浮いた状態になります。

このとき重い比重のものは沈み、軽い比重のものが浮きあがります。

このときに建物（アパートなど）は傾き、土管やマンホールなど地中に埋めてあるものが地面に浮き上がってきます。

詳しくは、国土交通省北陸地方整備局HPに図付解説が掲載されています。

(<http://www.hrr.mlit.go.jp/bosai/niigata/jishin/paneru/eki.joka/introduction.html>)

※ 2)坑口

トンネルの入口のこと。